

養成校最低基準 1,650 時間、東奥保育・福祉専門学院 1,860 時間、東奥学園高等学校福祉科 3,150 時間である。養成校基礎分野 120 時間、高等学校一般教養 1,610 時間、専門科目は養成校で 1,530 時間、高等学校福祉科は 1,540 時間で 10 時間多い。

しかも、養成校は基礎分野・専門分野併せて 1,650 時間に対し、高校福祉科は 3,150 時間の教育がなされ、一般教養並びに専門分野に対する基礎から専門に至る、知識と技術の修得に努めている。

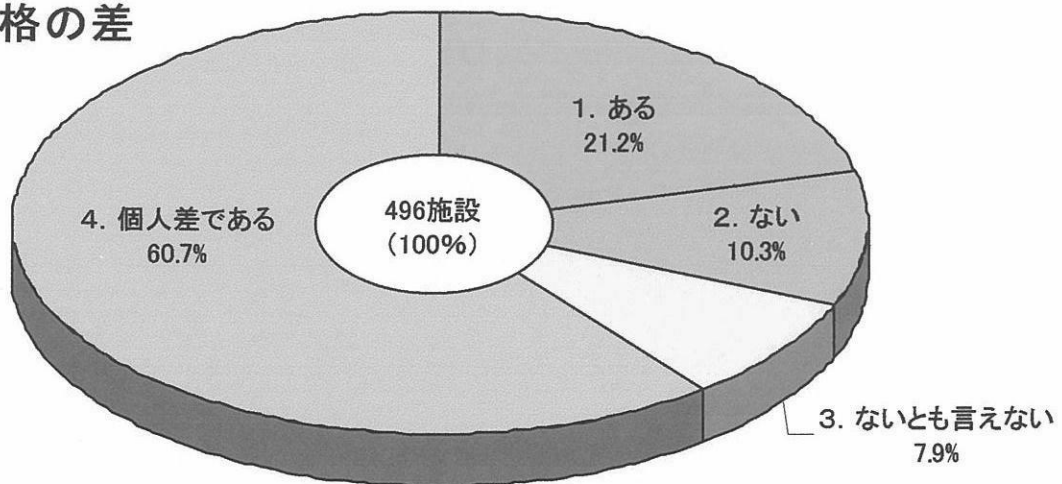
これ程の教育内容に差がありながら（養成校：1,650 時間・高校福祉科：3,150 時間）、養成校は卒業と同時に介護福祉士の資格が与えられ、高校福祉科は介護福祉士国家試験の受験資格付与である。

【質問 2：アンケート V の調査分析について】

V. 高卒資格取得者と専門卒以上の資格取得者との間に差がありますか？

そこで高卒資格取得者と他の資格取得者についての差があるかどうかを尋ねてみたところ『個人差の問題である』が 60.7% とアンケートの結果中、第 1 位の高い率となっており、『全く差がない』が 10.3% であり、高校福祉教育に携わるものとして、卒業生のレベルの高さを示すものであり、高校福祉科教育が高く評価されているものと受け止めている。

V 資格の差



アンケート項目 V 「高卒資格取得者と専門卒以上の資格取得者との間に差がありますか？」の質問で、

1. ある	105先	21.2%	
3. ないとも言えない	39先	7.9%	
計	144先	29.1%	の回答がある。